

道徳教育研究

発表会を終えて

平成三・四年度の二年間、明倫小、浅田小、三隅中の三校は、文部省の指定を受け、道徳教育推進校として「豊かな心をもち意欲的に実践する子どもを育てる道徳教育」を協同研究主題に掲げ、研究と実践を重ねてきました。

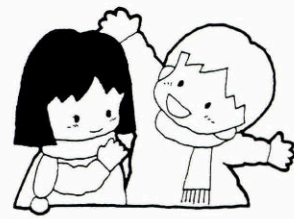
町内の三校は、学校教育目標、文部省、県、町の教育方針に基づき、三校の連携の強化と研究組織の一体化を図り、四つの研究班を構成しました。児童、生徒の実態把握、教師、保護者、地域の願いをもとに各校独自の課題の解明に取り組みました。

去る、十一月三十日に、三〇〇名近い先生方を本町に迎

え、その過程の一つとして、研究発表会を開催しました。午前中は、それぞれの学校で道徳の授業を公開しました。児童、生徒は、たくさんの参観者の中で、おじけることなく、生き生きとした輝きのある目、先生の発問や、友達の発表に耳を傾け、メモしたり、うなずいたりして、道徳プリントにむかっていました。工夫された指導過程の中で道徳性の深化をねらったすばらしい授業の公開であったと思います。

三校が協同実践した「道徳プリント」は、学習過程にそって、考えたこと、感じたこと、意見交換などが記入され、自己内対話のようす(個の高まり)を知ることができたようです。この高められた道徳的価値観が、児童、生徒の心を動かし、道徳的に望ましい行為をしないではおられない「実践する子ども」を育ててくれるのだと感じました。このプリントは、児童、生徒の成長の『足あと』として大切に保管させたいものだと考えています。

午後の講演は、「学校週五日制と道徳教育」と題して、文部省初等中等教育局教科調査官、押谷由夫先生の講演が



ありました。その講演の中で先生は、道徳教育は、心の教育であり、心の教育は、心意気の教育です。また、道徳とは、人間としての在り方や、生き方を問いかけるものです。われわれ人間が、人間として、よりよく生きていくためには、生きていくことそのものに価値を見いだし、喜びとし、よりよく生きることが大切です。生きていくもの全ての「よさ」を見出し、認め合い、はげまし合って、より完全なもの、より理想的なものを目指すことは、人間のみに与えられたものです。子どもに、しっかりとよりそって、子どもと共に、人間としての在り方や生き方を見つめ直すことのできる力を身に付けることが大切です。と結ばれました。

これを機会に、道徳教育の推進に、三校が連携をより深め取り組んでいきたいと思えます。

町民文芸

俳句

清風句会

(五十音順)
(一月)

書初めの量の濃淡おもしろや

沖村美智子

三代の顔を揃へて屠蘇をくむ

斎藤 元

新年の目出たき祝う初舞台

仁保 民子

それぞれに書初め仕上げ

たたえあう

書初の墨の匂いが心よい

藤沢 志帰

書初の皆の眠の念ずない

松浦 嘉子

初日の出水平線に輝けり

松田 妙子

皇室のおめでためて書初す

宮垣 萬女

筆不精書初すがし床飾る

山城てる子

初舞やひるがえる袖鶴に似て

山野たけ子

和服やひるがえる袖鶴に似て

和田 英二

耳遠き祖母を囲みて小正月

選者追吟
富田佳津美

短歌

三隅短歌会

(順不同)



小夜更けてかえるしじまに降る雨の廂打つ音柚子湯に聞けり
立間 雅子

嫁ぐ日の記念に買いいしアイロ
ンに心残しつ今日は捨てたり
村田 敦子

一、二、三、四、五、湯舟に
浮ぶ柚子数え孫と今宵のひと
とき過ぎす
堀 光太郎

山間部雪降るといふ情報に野
辺をいゆけば風花の舞ふ
山中 敬子

今年も一枚減りし年賀状友の
筆せきまぎまぎとたつ
松野美津子

あえぎつ、段上りきてたたず
めば宮の屋根・木々初日にひ
かる
臼井 麻子

七草の色みずくし朝粥の土
鍋にかおる蕪の柔し
岡 松子

み社の柱に凍てつる海軍兵殉
難の碑の百年の苔
伊藤 一郎